

調達管理番号・案件名

24a01060_アフリカ地域(広域)急増する都市人口に対応する効果的な都市及び土地利用の計画・管理にかかる情報収集・確認調査(QCBSーランプサム型)

質問と回答は以下のとおりです。

2025年4月7日

質問番号	ページ	項目	質問内容	回答
1	9	第2条 調査の目的と範囲	「アフリカ地域」という語句は、アフリカ全体を指すのでしょうか。それともサブサハラ地域を指すのでしょうか。	本調査においてはサブサハラアフリカを指しています。
2	10	第2章特記仕様書案 第3条調査実施の留意事項 (2)調査対象国及び現地調査対象国の選定	アフリカ地域において、これまで貴機構が都市・都市交通マスタープランの協力を実施した主要都市として挙げられている都市にマダガスカル国アンタナナリボ、ウガンダ国カンパラ、モーリタニア国ヌアクショットが含まれていません。また記載されている都市でも、案件が現在実施中から実施後かなり時間がたっている場合もあります。記載されている都市を選定した理由があれば教えていただけないでしょうか。 アフリカは国によって土地制度や都市計画の制度が異なり、それがインフォーマルセトルメントの発生とつながっていることがあります。まずは広く分析をするという観点から、机上調査の段階では、上記のような国も含めた検討としたほうがよいのではないのでしょうか。	対象国の想定は例示であり記載の国・都市を除くことや他の国・都市を含めることはご提案いただくことが可能です。 あまり多すぎても各国の十分な検討が各国・都市において難しくなる可能性もあると考えており網羅的な記載はしておりません。 例示した国・都市は厳密な精査はしておりませんが、人口増加の傾向が大きい都市で都市計画・都市交通のマスタープランによりそれへの対処が求められている中で情報が収集できそうで、より比較検討がしやすいような標準的な国・都市などを念頭に記載しています。
3	11	第2章特記仕様書案 第4条調査の内容 (3)都市拡大と人口増加のメカニズムの分析	オープンソースを最大限活用しつつも、分析例として記載されている居住の増加は建物フットプリントのデータが重要であったり、洪水や地滑りリスクの分析にも詳細な標高データが重要になりますが、有料の衛星画像を使った分析も想定されていますでしょうか。	オープンソースで信頼できる情報で分析できるものがあればそちらを優先的にと考えており、有料のデータに基づくものを想定しておりませんでした。 有料で有益と思われるものがあれば、上限額内でご提案に含めていただく、もしくは評価対象外となりますが別提案・別見積もりでご提案いただくことが可能です。
4	20	第3章プロポーザル作成に係る留意事項 4. 見積書作成にかかる留意事項 (4)定額計上について	スラム実態調査に係る経費として3,000,000円が定額計上の額として記載されていますが、アフリカでの再委託では、この金額でできることは限りがあることが想定されます。この金額を算出するにあたり、貴機構が想定している都市の数と調査項目をご教示いただけないのでしょうか。	現地調査対象数を3か国程度としており、この中で狙いや目的に沿って対象となる都市やスラムを選定し、特記仕様書に記載の通り家庭訪問調査、アンケート、フォーカスグループディスカッションなどの手法で居住環境の状況や課題の把握や居住地選択の判断理由などを明らかにする調査を想定しております。 こちらも定額を超える別提案・別見積もりの提案も可能です。

以上

